



2010/08/01

SINCE 1980/11/30

鳥との出会い

30th Anniversaries

僕は、バードウォッチングを始めてようやく1年になりました。

最初は、鳥の先輩に鳥の事について一から教えてもらい、いつも色々な先輩に尋ねてばかりでした。

鳥を見ていると、行動や生態などが不思議で、奇想天外な事をする鳥もいて、個性があって面白いなと思いました。

鳥見を始めた理由は、お父さんにやってみないかと言われ、軽い気分で参加しました。すると、今までに見たこともない鳥や、身近にいる鳥がたくさんいたけど、僕にとっては身近にいる鳥もとても珍しい鳥に思えました。いつも近くにこんな鳥がいたのかと思うと、つい嬉しくなって鳥を見る事が楽しくなってきました。いつも同じ鳥だけでなく季節によっている鳥も違うし、何が出るかわからなく、いつも違った種類の鳥がいて、とても楽しいです。

その事が大きなきっかけで、鳥見を始めました。鳥を見始めのころは、何が何だかわからず、リーダーやベテランのそばにずっといました。やはりみなさん鳥をみつけたり、識別したりするのがとても上手く、話にもあまりついていけませんでしたが、探鳥会の時に分からなかったことを家にある本で調べ、あとに役立てたりしています。

鳥を見てから、外の世界が変わりました。どう変わったのかというと、鳥見を始める前は鳥のことなど気にせずに歩いたりしていました。鳥見を始めるるとどういう鳥がいるのか気になっていて、鳥を見るようになってからは自然のほうに耳を傾け、色々な場所に目を配りながら歩くようになりました。

探鳥会以外の時でも、お父さんと甲山に鳥を見に行ったりその時、鳥を見てわからなかったらベテランの方にいつも聞いています。

ここまで大人のメンバーにまじり小学生の僕がこの一年間で楽しく鳥見をつづけられたのは、甲山探鳥会を初め、支部の皆さんに教えていただいたおかげだと思います。ありがとうございます。

これからもベテランの方に一歩でも近づけるように楽しみながら勉強していきたいと思っています。

鳥と出会った人：樋野 雄大(小6)